

九州新幹線全線開業に伴う宿泊客増加の経済効果は 195 億円

～熊本県内への宿泊客は、開業前に比べ 10%増加～

○ 九州新幹線全線開業後の熊本県内への宿泊客増加に伴う経済波及効果は約 195 億円

- 平成 23 年 3 月 12 日の九州新幹線鹿児島ルート全線開業による熊本県内への宿泊客増加に伴う経済波及効果を推計した結果は、195 億 29 百万円となった（図表 1）。
- 経済波及効果の算出にあたっては、「経済効果分析ツール」（熊本県統計調査課）を使用した。

図表 1 九州新幹線全線開業後 1 年間の経済波及効果

生産誘発額(単位:百万円)	
第1次波及効果	15,966
第2次波及効果	3,563
合計	19,529

※1 第1次波及効果のうち直接効果（＝宿泊客の熊本県内での観光消費額の増加額）は、11,401百万円

○ 推計方法について

・ 宿泊客増加人数

全線開業後 1 年間（平成 23 年 3 月～平成 24 年 2 月）の宿泊客数は、平成 22 年熊本県観光統計表の国内宿泊客数に、熊本県が実施した「宿泊客数動向調査（平成 23 年 6 月～12 月）」による前年同期比の増加率 10.04%を乗じて算出した（図表 2）。

図表 2 九州新幹線全線開業後 1 年間の熊本県内への宿泊客増加人数

	単位:人	
	全線開業前1年間	全線開業後1年間の 宿泊客増加人数
宿泊客数	6,212,885	623,774

※ 2 全線開業前1年間の宿泊客数
平成22年3月～12月は熊本県観光統計表(平成22年)の宿泊客数
平成23年1月～2月は同表に基づく推計による宿泊客数

・ 宿泊客 1 人あたりの観光消費額

観光庁「全国観光入込客統計」の熊本県への入込客の観光消費額および平成 22 年熊本県観光統計表の観光消費額に基づき、18,285 円と算出した。

・ 熊本県内での観光消費額の増加額

上記の宿泊客増加人数、宿泊客 1 人あたりの観光消費額に基づき算出した熊本県内での観光消費額の増加額は、約 114 億円となった。

・ 経済波及効果

上記で算出した約 114 億円を、熊本県観光統計表の「1 人あたりの観光消費額」の構成費目ごとに振り分け（図表 3）、経済波及効果分析ツール用いて経済波及効果を算出した。

図表 3 宿泊客の観光消費額

	単位:百万円					
費目	宿泊費	飲食費	域内交通費	商品購入費	その他	計
観光消費額	6,761	1,601	1,027	1,186	826	11,401

以上